

# 第3回 清瀬市 図書館を使った調べる学習コンクール 作品募集

「これ何だろう?」「どうしてだろう?」

知りたくなったら図書館で調べてみよう!

令和元年度から始めた「図書館を使った調べる学習コンクール」を今年も実施します。コンクールでは、ふだん疑問や不思議に思っていることについて調べた作品を募集しています。今回は作品を作る際の4つのポイントをお伝えします。

## さあはじめよう「調べる学習」の4つのポイント



### 1. テーマを決めよう

疑問やふしぎをさがしてみよう!



### 2. 図書館で調べる

地域の図書館や学校図書館で調べてみよう。見つけた本の名前は書いておこう。



### 3. もっと調べる

まちや自然のなかにもでかけよう!  
図書館では調べきれない発見があるよ。  
考えた内容をメモしておこう。



### 4. 書いてまとめよう

友達に自分が調べたことを教えてあげるつもりでまとめよう。どこで何を調べたか、参考・引用文献を書こう。

コンクールの募集期間は**8月25日(金)**から**9月12日(火)**までです。  
応募方法等、詳しい内容は図書館のホームページや、館内のポスターにてお知らせしています。みなさんのご応募をお待ちしております。

# Teens Joy

10代のみなさんへのおすすめ図書リスト



No.52 2023.7

清瀬市立図書館

## ツイート・ウォーズ

エマ・ロード／著  
小学館集英社プロダクション



本作は、高校の優等生で水泳部のキャプテンのペッパーとクラスのお調子者でダイビング部のジャックの二人がツイッター上で繰り広げるやり取りを通じて恋に落ちていく物語。

ペッパーがハンバーガー店のツイッターアカウントを使って投稿した「グリルドチーズサンド」のレシピがジャックの父親が経営している食品会社の「グリルドチーズサンド」と酷使していることから、ツイッター上で激しいやり取りが始まります。

また、学校で流行りの匿名チャットアプリで互いに惹かれあうまでのやり取りが、人間の感情の動きを絶妙に表現しています。

また、二人の周りの登場人物たちのキャラクターも魅力的であり、読者の心をつかむこと間違いなしです。

〈駅前図書館 岩田〉

日本の小説やマンガが大好きな、ウクライナの女子学生、ズラータ。昨年2月のロシアのウクライナ侵攻により、彼女の住む街も爆撃の危険にさらされるようになりました。この本は、彼女が戦火の故郷を離れて、家族とも別れ、たった一人で日本に避難するまでの日記です。

「日本を見ずに死んでたまるか！」という思いで臨んだ不安な長旅の間も、ズラータはオンラインで学校の授業に取り組み続けたと言います。「一瞬で世界は変わるのだ。だから今やれる時にやれることを精一杯やるんだ」。

翻訳ではなく、ズラータが一所懸命学んだ日本語で綴ったことばは、私たちの胸に直接刺さってきます。

〈中央図書館 佐藤〉

## ズラータ、16歳の日記

ズラータ・イヴァシコワ／著  
世界文化ブックス



## ネット情報におぼれない学び方

梅澤貴典／著  
岩波書店



中学生のみなさんが生まれる前から使われているインターネット。ネットがあれば何でも調べられると思いませんか？

その情報は、確かなものでしょうか？ ネットの中には不確かな情報が混じっているかもしれません。

自分で見つけた情報が確かなものか、どこから発信されているのか、その信頼性を見抜くこと、つまり「情報リテラシー」が大切になってきました。

ネットの中から、信頼できる情報を探す方法もあります。

今どき古いんじゃない？と思うかもしれませんが、図書館の情報源の確かな資料を使って信頼できる情報を見つけ出す方法もあります。確かな情報を使いこなせるようになってみませんか。

〈駅前図書館 長谷川〉

思春期、それは何かとうじうじ悩んで、ぐるぐる戸惑って、不安になる年頃。

この小説の主人公はSNSがきっかけでいじめにあい、生まれ故郷に帰ってきた女子高生です。そんな彼女が不愛想な天文部員と出会うところから物語が動きまわります。

空に光る星はどんなに近くても地球から何光年も離れており、どの星も好き勝手に、こちらが嬉しいとか悲しいとか関係なしに輝いています。

でも、それは人間同士だって同じこと。無理に全てを一緒にする必要はなく、自分だけの気持ちを思いっきり大事にすることは決して悪い事ではありません。

何かに迷ったとき、どうしようもなく落ち着かないとき、そんな時は星空を眺めてはいかがでしょうか。清瀬で見上げる星、結構きれいですよ。

〈駅前図書館 江頭〉

## セントエルモの光

天川 栄人／著  
講談社

